

# 瑞雲

ずいうん

第84号 平成19年1月15日

瑞雲：めでたいしるしの雲の意

## 今、この瞬間を生きる。

## 直方鉄工青年会 4月

直方鉄工青年会

第42代会長 浅田晋右

平成18年度スローガン

## Carpe Diem ～真正経営究道会～



謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、皆様には日頃より会活動にご支援ご協力頂き、厚く御礼申し上げます。今回、第四十二代の会長を務めさせて頂いております(株)JTSの浅田晋右(シンスケ)と申します。この歴史ある青年会の会長を仰せつかり、当初はとても光栄に感じると同時にその重責に身の引き締る思いでありました。数ヶ月が経った今、少しは慣れるのと思っておりましたが、いまだに不安と緊張の日々を過ごしております。残り数ヶ月これからもこの機会を十分に活用し少しでも色々な事を学び、社業に、そして来期に繋がる様、精一杯励みたいと思っておりますので更なるご指導ご厚情の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、今回の会スローガンにあげています「Carpe Diem」ですが、ラテン語の諺で「今、この瞬間を生きる」と言う意味です。これは私の一生涯の標語なのですが、私自身、人はいつでも未熟であって、常に挑戦者であるべきという前提のもとに生きることが出来るものと考えています。人間、やってしまった後悔よりやらなかった後悔の方が深いと言います。何かにチャレンジしてそれが失敗だったとしても、全力で取り組んだ結果であればその後の努力次第で何とか挽回出来る。しかし何もせずに後々に、あの時やっていたら良かったな～という後悔はなかなか消す事が出来ません。「いつかきつ」と今の未熟な自分を後の自分に期待したり、「あの時あずすれば」と過去を後悔する事をせず、「やるなら今しかない」と全身全霊をぶつけてみることで「今」が開けていく、今その瞬間が光輝くものと考えています。それはビジネスにおいても私生活においても、そして会の活動にお

いても同様で一つ一つの意味を考え有意義な活動を行い、後悔せず常に向上心を抱き“年中無休”より“年中夢求”の精神でいきたいと思っております。それからもう一つ、サブタイトル的に「真正経営究道会」と名づけ、本当の意味の経営と言うものを学び、その道を究める会でありたいと思っております。この「経営」とは何を意味するものかと申しますと、もともと「経営」とは仏教用語で、禅寺で大きな法要を行う時にその運営がスムーズに行くようにそれを成し遂げる様子のことを「経営」と言ったそうです。「経営」の「経」という字は、地図の「緯度、経度」という言葉の「経」、また布を織る時の縦糸の事を言い、縦に筋がきっちり通っている事を指しているのだそうです。縦に筋が通っているといっても命令系統が上から下に行くという意味ではなく、人としての筋道を通しているかと言う事、「倫理」の事なのです。自分自身この直方鉄工青年会で会社運営の「経営」に関する事を学ぶ事はもとより、人の道筋「倫理」を勉強し自分自身の人間形成、社業に活かせる様に努力していきたいと考えています。

あの松下電器の初代会長 松下幸之助氏はインタビューで「松下電器とは何を作っている会社ですか?」と聞かれた際に「松下電器は人を作る会社です。ついで電化製品も作っています」と答えています。人が育てば会社は自然と育つ。人が育たなければ会社も枯れる。本会もまずは人の道筋と言うものをきちんと学び、そして更には皆で会社運営に関する事をも勉強し「直方鉄工青年会は人をつくる会です。ついで会社運営術を学んでいます」と答えられる様な会でありたいと考えています。

### 総務委員会担当副会長 矢山 真人

皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

総務委員会の主な活動は4・2月の通常総会の運営と毎月行われる例会の開催ですが、4月の通常総会がその中で一番のメインイベントとなります。それが終わると活発な活動をあまり行わなくなりますが、元島委員長は議案の有無に関わらず毎月委員会を開催し、積極的に委員の参加を促し、委員長として立派に委員会をリードしてくれました。総務委員会の活動として2月の総会が残っていますが、元島委員長の指導力の下委員一致団結し、新会長選出にふさわしい2月通常総会になると確信しています。

昨年は会への出席率が悪く、副会長としてあまり役割を果たせませんでした。残りの任期3ヶ月精一杯頑張りますので、本年も宜しくお願い申し上げます。



### 厚生・経営委員会担当副会長 黒岩 義泰

新年明けましておめでとうございます。旧年中は直方鉄工青年会活動に対し、多大なる御指導を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので新体制となり九ヶ月が過ぎ、私自身副会長として、会長の思い描いた会運営が行われるために、会長をサポートして行くことが一番の任務と思ひ活動を行ってきましたが、まだまだ、不十分な点が多々ありましたので、残された期間を精一杯頑張っていきたいと思ひます。

さて、この青年会は近年会員数の減少傾向という大きな問題に直面していますが私達、青年会は何とか、この状況を乗り切らねばなりません。そのためにも今、会員全員が、一丸となり何事にも前向きに考え、柔軟な頭脳や時には、大胆な行動力で魅力ある会にし、この状況を乗り切らねばと思ひています。

そして、諸先輩方が築き上げられた歴史を汚すことなく、しっかりと次世代に伝えて新しい歴史を積み上げることが出来るように頑張りたいと思ひます。

今後も皆様方の暖かいご支援ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



### 広報・ものづくり委員会担当副会長 石松 慶裕

新年あけましておめでとうございます。広報・ものづくり委員会担当副会長を務めます石松です。同級生(小学校から高校まで同じ学校)の浅田君が会長になり、私を副会長に指名していただき、もう自分の年代が会を牽引していかなければならないのだと痛感しています。

昨年度のものづくり事業では、クリーンエネジーカー(燃料電池車)をある程度形にすることで一定の成果を得たと思ひています。そこで今回ものづくり担当となり、ものづくりの成果とはいったいなんなのだろうか?と考えさせられました。成果を定義できなければ、今年のものづくりを出発させることもできないからです。

ものづくりとは、かたちにすることも肝心だが、かたちにするまでに、ああでもない、こうでもない、と試行錯誤することも大事、そしてなにより過程の中で会員同士が親交を深めていくことも大事だ、という結論に達しました。そして改めて、昨年度はこのような成果を得ることができた、と感じています。

考えてみれば、青年会自体がこの理念の上に立脚し、すべての事業を遂行しているのだから、当然の帰結とも思えます。ものづくりだけに限らず、青年会が果たす役割はこれ以上でも、これ以下でもないのかもしれない。

今年度は「鉄男の部屋」を製作中です。これは今後、青年会のものづくりが永続的に続くために必要不可欠なものです。ここで先に述べさせていただいたようなものづくりが展開できればと楽しみにしています。

最後に一言だけ、先輩方からの新入会員のご紹介を切にお待ちしております。



### 総務委員会 委員長 元島 順也

18年度総務委員長の元島です。総務委員長の前は3年間事務局に属していましたが、委員長は今回が初めてだったので、今年度当初は委員長とはどうあるべきか、委員会活動とはどのようにすればいいのか、などと根本的なことを悩んでおりましたが、気が付くと18年度も残りわずかとなってしまいました。

今になって振り返ってみると、担当副会長と副委員長に会長経験者を配属して頂いたというメリットを活かせず、こんな委員長でよかったのかなと思い反省しております。

今年度も残り少なくなってきましたが、我々総務委員会は毎月の例会と2月通常総会という大事な仕事が残っております。これらの仕事を気を緩めることなく、また19年度に向けて盛り上がっていただけるように、総務委員会一丸となって活動していきたいと思っております。



### 厚生・経営委員会 委員長 福山 貴信

新年あけましておめでとうございます。本年度、厚生・経営委員長の福山です。

初心に帰って一生懸命がんばりますのでよろしくお願い致します。

さて、本年度厚生・経営委員会は一年間の事業計画を①ゴルフを通じ会員の親睦をはかる。②会員の健康促進(弱った足腰を強化)③仕事と趣味の両立を考える④一年を通し結果の出る事業を行うを掲げ、年/2回のレッスンと1回の合宿・実習を行い1月には特別会員合同ゴルフコンペ及び新年会を企画しています。これまで、2回のレッスンと1回の合宿・実習を行いましたが、最初はなかなかうまくボールにあたらず、暗い顔をしていた会員も今では「ナイスショット!」の快感に浸っています。現在も、5月より始めています毎週火曜日の個別レッスンに、5人~6人の会員が参加し1月の新年コンペに向けてがんばっています。直方鉄工青年会関係者の方で、参加希望の方は毎週火曜日に「ベストゴルフチクホ」2階にて、練習代金のみでレッスンプロ(塚原先生)に指導頂きますので一度、覗いてみてください。

さて、なぜ今ゴルフかと言いますと…下記に書きましたので共感して頂くと幸いです。「ゴルフとは仕事と同じですが、ただ漫然とボール(仕事)をカップに向かって打つのではなくティーショット(事業)を打つ前に方向(内容)を確認しコース(市場)を分析し計画を立て自分のもち球(スタッフ)や自分の飛距離(予算)を計算しトラブルが無いかを確認しなければいけません。セカンドを打つときは風(状況)の向きが変わっていないか、もっと良い攻略法がないかを考えクラブ(設備)選択をし、常に平常心で打たなければいけません。またグリーン上ではこれまでの経験から、傾斜(加工方法)や早さ(時間)を計算しよりカップ(利益)に近づくように打ちます。戦略的なゴルフが出来れば、仕事にしても同じように良い結果が得られると思います。



### 報・ものづくり委員会 委員長 花田 勇平

皆様あけましておめでとうございます。

本年度、広報・ものづくり委員長を務めさせていただきました、花田です。

浅田会長のもと、委員長という初めての大役を任せられ早や9ヶ月が過ぎました。

今年度の我が委員会のメイン事業は「鉄男の部屋」の建設でした。4月から計画に取り組み、ミーティングを重ね、9月に無事完成を迎えることが出来ました。我々、直方鉄工青年会は、直方の基幹産業である「ものづくり」をテーマに、昨年より、「クリーンエナジーカー」の製作に取り組んでおります。製作場所や時間の関係上、いまだ完成には至っておりません。この度、建設致しました、「鉄男の部屋」を、ものづくり事業の拠点とし、今後さらなる、研究、製作を進め、青年会の歴史の一部を飾る、作品を完成させる所存です。最後に瑞雲発行にあたりまして、貴重な時間を割いて頂いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



# 平成18年度 4月通常総会開催

今年度、最初の事業である通常総会が、4月21日に開催されました。

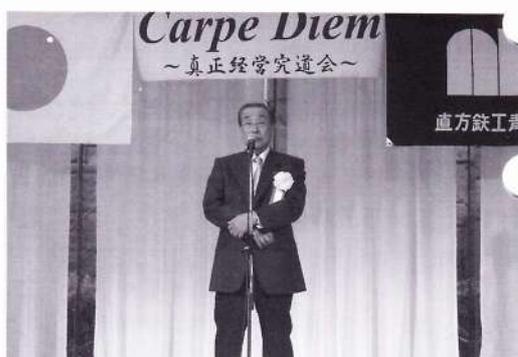
今年度も昨年同様、青空の広がる天候に恵まれ、まさに本誌の表題「瑞雲」と呼べる様な雲が流れていました。

この総会に至るまでに、役員はもとより委員会レベルでの活動は早くから動き出していました。その中でも総会事業担当の総務委員会は、日々、時間のない中で準備に追われ、あっという間に総会当日を迎えることとなりました。今年度総務委員長を務める元島君を中心に、委員会メンバーは早くから会場に入り、最終チェックを行っていました。そんな総務委員の引き締まった顔を見ていると、青年会の一年の始まりを改めて感じました。

懇親会前に第42代会長浅田君に、「今から会長挨拶がありますね」と問いかけると、会長は「この会長挨拶が、会長職の中で一番大変」と笑みを浮かべながら答られました。又「緊張するから、先にビールを飲もう」などと言って周囲の人の緊張までもほぐしてくれました。そんな会長は、本番でも得意のユーモアのセンスを発揮し、皆を笑わせながらも青年会に対する熱い思い、信念を語っていました。知性とユーモアで浅田会長らしく挨拶をしていた姿を見て、また今年も良きリーダーが誕生したと実感しました。

最後に御来場されました各関係者の皆様方には大変感謝を申し上げます。

また、今後も皆様のご指導ご鞭撻、お力添えの程宜しくお願い致します。



## 直方鉄工青年会 平成18年度組織図



## 平成18年度 事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総務委員会	総会 懇親会	例会	例会	例会	例会	例会	例会	例会	健康づくり 事業及び 忘年会	例会	総会 懇親会	例会	
厚生・経営 委員会		第1回 ゴルフ レッスン		第2回 ゴルフ レッスン	自然 ふれあい 事業		ゴルフ 合宿	3 委 員 会 ・ 事 務 局 合 同 産 業 ま つ り		OB合同 コンベ 及び 新年会			
広報・ものづくり 委員会			スポーツ 関連事業			鉄男の部屋 落成式	クリーン エナジー カー製作			瑞雲発行		卒業生を 送る夕べ	
事務局	手帳				初盆参り					えびす祭り 会長選考		厄払い	会計監査

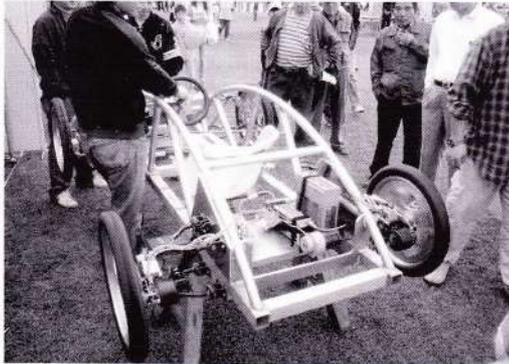
# ものづくり事業

直方鉄工青年会では、ここ数年、会員全体で取り組むものづくり事業を行っております。テーマはハイブリッドクリーンエネルギーカーと銘打って、ソーラー+燃料電池+圧縮空気を利用し、それぞれが運動して補完し合い作動するシステムを搭載した自動車の作成に取り組んでいます。現状では、ボディフレームや足回り、舵取り装置は完成しています。駆動システムとしては燃料電池は既に搭載していますので、燃料電池自動車としてはほぼ完成しています。昨年の産業祭りでは展示ならびに試乗を実施し、脚光(?)を浴びました。先輩や関係者の方々にも試乗していただき、楽しんでいただけたものと考えています。

今後もその他のシステム搭載や、洗練を進めて行きます。これからも何が飛び出すかわからない“直方鉄工青年会のものづくり事業”に皆様の絶大なるご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

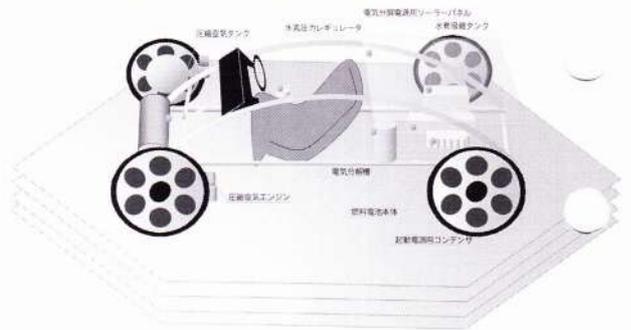


とりあえず走行できる状態までと少し。  
自然に作業ピッチが早くなってきます。

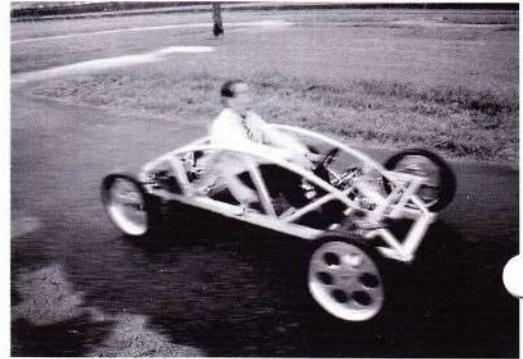


産業まつり当日  
燃料電池カーとしてのシステムを紹介。  
いくらで売れるのかという問い合わせもありました。

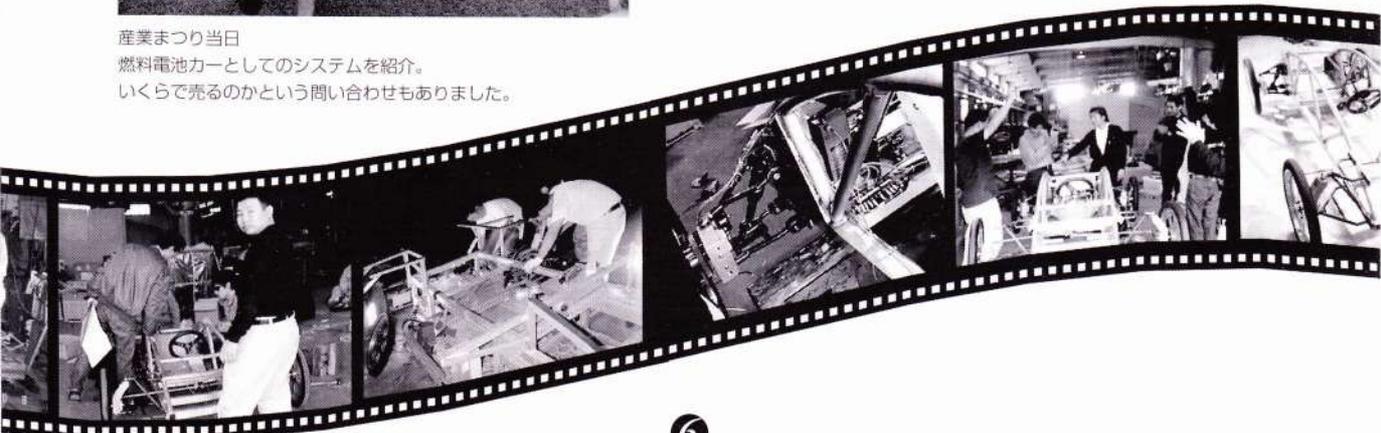
## HYBRID CLEAN ENERGY SYSTEM



ハイブリッドクリーンエネルギーシステム



産業まつり当日  
爆走するクリーンエネルギーカーの雄姿。  
ただこの時点ではブレーキはついていません…。



## 卒業に際して

### 青年会への思い

大島 九州男 (第35代会長)



私が青年会にお世話になって、記憶に残る印象的なことは沢山あります。最初に声をかけて頂いたのは、渡辺会長の時。その時は、いろいろなことに余裕がなくご縁を頂かなかったのですが、高倉会長の時に吉田祐司先輩のご紹介で、ご縁を結んでいただきました。

多くの事業や宴会をこなしていく中に大変多くのことを学ばせていただきました。

先輩に対する礼儀、宴席の際の作法等、大学のクラブでは皆さんが経験した事でしょうが、ある意味社会人としては、なかなか経験できない勉強を青年会で再び経験できたことは、大学生生活を2度送らせていただいたという有難い思いで本当に感謝申し上げます。

先輩に導かれ、後輩に支えられた大学時代の思い出は、卒業した今になっても大切な宝です。今年卒業を迎える今、自分自身が青年会に少しでも役に立つことが何かできたのか？自問自答しても答えは出てきません。

きっとこれからもずっと答えは見つからないでしょう。学んだことは本当に多く、それなのに青年会にお返しができなかったこの現実。この現役最後の年に、もう一度青年会のために何ができるのか？じっくり考えさせていただきたいと思います。

そして、卒業して青年会が存続する限り、少しずつ少しずつ自分のできる恩返しを实践させていただきたいと思います。本当に長い間お世話になりました。最後の一年間を今までの青年会活動を見つめる大切な一年にしたいと思います。

### 卒業するにあたり

植木 剛

私が入会したのは篠崎会長の時で、かれこれ10年になります。

当初はいろいろな疑問をあれこれ会長にぶつけて数々の御迷惑をお掛けしました。

その甲斐あってか次第に青年会の事が分かってくるにつれ当会が役員にならないと意味がないと言うことに気づきましたが、いかんせんその頃から仕事に激動が起き、青年会どころではなくなり、メンバーと疎遠になってしまい、諸先輩方が残していかれた数々の教念に対し、私は何も残せず卒業を迎えた事が心残りです。

あと1年足らずしか有りませんが、精一杯青年会に恩返ししていきたいと思っています。



## 新入会員紹介

九州鑄鉄管株式会社 山口 高広

この度2006年度より新規入会させて頂くこととなりました、ダクタイル鑄鉄管(水道・下水道のパイプ)の製造及び販売を行っている九州鑄鉄管(株)の山口高広と申します。

専門学校卒業後、関東にてコンピューター関係の仕事を8年、現会社に入社して9年目となります。

若干高年齢での入会となりますので卒業までの時間が短い分、ハイスピードで勉強しなくてはいけません、恐ろしいまでの団結力とパワーをもったこの鉄工青年会に早く溶け込んで貢献していきたいと思っています。皆様、ご指導のほど宜しくお願いいたします。



# パパは誰でSHOW?

あやか  
① 彩伽ちゃん



## パパのコメント

10年ひと昔という言葉がありますが、長男が生まれた時を思い起こしますと、随分と時がたちそれだけ年をとってしまったとひしひしと感ずます。ただ、考え方をええと良い意味でそれだけ経験を積んだという取り方も出来ませんが、まだまだ30半ばの若輩者なので、公私とも勉強不足のところもありますので、これからもご指導賜りますよう宜しくお願いします。ちなみに長男とは11歳はなれています。

まお  
② 舞音ちゃん



こうせい  
③ 煌征くん



## パパのコメント

平成17年の11月28日に我家に待望の男の子が誕生しました。お日様のように輝いてほしいと、私達の願いを込めて煌征(こうせい)と名前をつけました。強く明るく素直に育ってほしいと願っております。大きくなった時には、一緒にサッカーをしたいものです。

## パパのコメント

昨年の1月寒い寒い中ででしたが、元気に生まれました。今までの人生の約半分は音楽の世界にいたので、子供たちの中の一人には、何かしら音楽にちなんだ名前をつけようと思い、音が舞うという事で、舞音(まお)とつけました。将来はピアニストになってくれたらいいと思います。どうぞ皆様よろしくお願ひ致します。

みなみ  
④ 美波ちゃん



## パパのコメント

女ばかりの3姉妹の末っ子です。もうじき1歳になります。2人の姉と比べると、性格はおっとりしているようですが、食欲が一番旺盛です。健康に大きく育ってくれればなによりです。よろしくお願ひします。

まりか  
⑤ 真梨華ちゃん



## パパのコメント

名前は真梨華です。平成17年8月15日生まれて、1歳4ヶ月になりました。あんよが上手になり好奇心の赴くまま歩き回り、突進お嬢と化しています。食欲も旺盛で大人と変わらないくらい食べます。このまま健やかで、名前の様に真っ直ぐで華のある女性に育ってほしいと思います。ちなみに誕生日は私と一緒にです。

直方鉄工青年会

福岡県直方市大字植木1245-2 (ADOX福岡直方鉄工協同組合内)

発行人 直方鉄工青年会 広報・ものづくり委員会

発行責任者 委員長 花田 勇平

印刷 株式会社ワールドプリンティング Tel.0948-25-5557